

FX NEWS PRESS

2024年
11月号

2024年11月5日発行
FXニュースプレス
(No.215)

AIゴールド証券
コンサルティング部
Tel:03-6861-8181

今月の注目通貨ペア (P3)

米ドル円

200日移動平均線(151.52円付近)の攻防に要注目

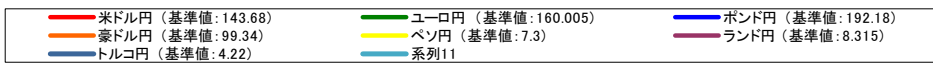
【各種掲載のご案内】

- ▶ HP内でもFX NEWS PRESSや週間のテクニカルレポートWeek Ryreportを公開！
- ▶ FXやコモディティ、株価指数の市場情報を日々更新！マーケットコメント！で公開！
- ▶ 最新のセミナー情報はHPで公開！
12/14、神戸国際会館にて堀古英司氏登壇！
サテライト配信もご用意！
 - ・東京会場
 - ・名古屋会場
 - ・福岡会場

詳しくはホームページをご覧ください

 AIゴールド証券 <https://www.aigold.co.jp>

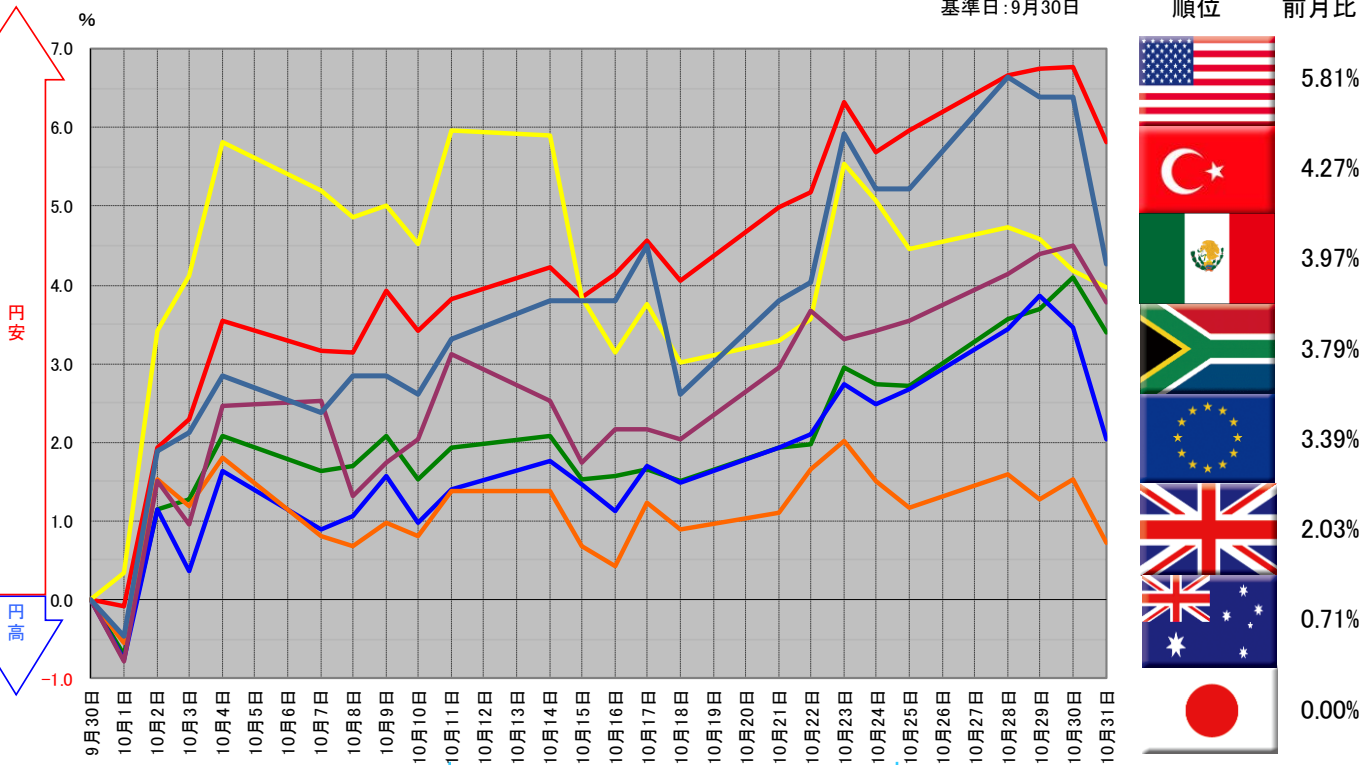
AIゴールド証券株式会社 東京都中央区日本橋久松町12-8 03-6861-8181 金融商品取引業者 [関東財務局長(金商)第282号]
一般社団法人金融先物取引業協会会員 日本証券業協会会員 日本商品先物取引協会会員



10月31日時点評価

基準日:9月30日

順位 前月比



10月2日 日銀による利上げ観測後退

石破首相と植田総裁が初の会談を実施した。植田総裁は「極めて緩和的な状況で経済を支えている状態」と述べ、利上げ姿勢を封印していた。その前に報じられた加藤財務相からも「金利が上がることは前提ではなく、適切な金融政策を期待」との発言があった。また、石破首相が「個人的には現在、追加の利上げをするような環境にあるとは考えていない」と明言したことで円売りが加速。ドル円は一時144.86円近辺まで急伸した。

10月6日 米雇用統計

米労働省が発表した9月雇用統計で非農業部門雇用者数が前月比25.4万人増と予想を大幅に上回り、失業率が予想よりも強い結果となったため、米連邦準備理事会（FRB）による大幅な利下げ観測が後退し、長期金利上昇に伴うドル買いが加速。一時149.00円と約1カ月半ぶりの高値を付けた。グローバル・ビー・シー・エス・アンド・カンパニーのCEOは「米経済が完全雇用と低インフレの状態にあるとの自信が高まる」との見方を示した。

10月9日 RBNZ政策金利

ニュージーランド準備銀行は金融政策委員会で、政策金利を0.5%引き下げ、4.75%とすることを決めた。インフレが収束しつつあるとの「確信」を示すとともに、景気の下振れリスクにも配慮した。中銀は、鈍化を続けている消費者物価指数（CPI）上昇率が7～9月期に目標の1～3%内に収まるとの見通しを示した。大幅利下げの影響を受けてNZドルは対円では90.10円まで下落。

10月14日 米大幅利下げ観測後退

米連邦準備制度理事会（FRB）による小幅利下げ観測や、ナイト・セッションの日経平均先物が4万0150円まで上昇したことなどを手掛かりに全般ドル買い・円売りが先行した。また、中国の財政支援策を期待したリスク選好の円売りも優勢となり、一時149.98円と8月1日以来の高値を更新した。さらに、ダウ平均が連日で史上最高値を更新するなど、米国株相場が底堅く推移したことも相場の支援材料となった。

10月16日 英消費者物価指数

9月の英消費者物価指数（CPI）が前年比+1.7%と前回+2.2%や市場予想+1.9%を大幅に下回り、2021年4月以来の低い伸びとなったことを受けて、イングランド銀行（英中銀）による11月利下げと12月の追加利下げ観測が強まった。ポンドドルは1.3077近辺を高値に、一時1.2982と8月20日以来初めて1.30ドルの節目を割り込んだ。ポンド円は東京早朝の195.31円を高値に、一時193.71円まで急落した。

10月17日 ECB政策金利

ECBは市場予想通り政策金利を4.25%から3.65%に引き下げることを決めたと発表。声明では「決定は会合ごとに実施し特定の道筋に事前にコミットしない」とのガイダンスを維持した。また、ラガルド総裁の会見で「われわれは特定の金利経路を事前に約束しているわけではない」との見方を示した。結果が公表されると次第にユーロ買い・ドル売りが優勢となり、一時1.1057ドルと日通し高値を更新した。

10月23日 ドル円153円台まで上昇

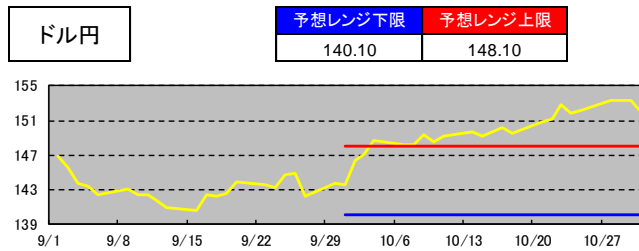
連邦準備制度理事会（FRB）の段階的な利下げを織り込み長期金利上昇に伴うドル買いが続き、153.19円と7月31日以来の高値を更新した。さらに、「衆院選での自民党の苦戦が予想されるなど政局不安が高まる中で、月末の日銀金融政策決定会合で利上げは実施されづらいだろう」との思惑が浮上し、円売りを誘った面もあった。また、151.35円付近にきている200日線を突破したことで上値追いに安心感が出たようだ。

10月28日 与党敗北で円全面安

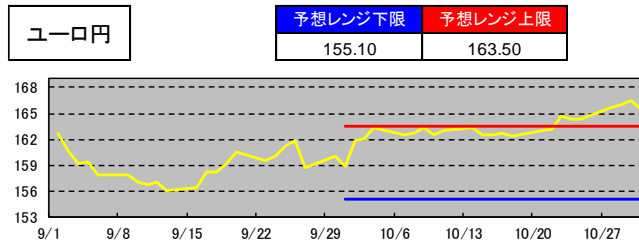
衆院選の結果は自民・公明の与党で過半数割れとなった。市場でも与党の苦戦が伝わっていたが、想定以上の敗北になった印象。「金融政策決定の遅延や困難さが想定され、日銀利上げの遅延リスクも高まった」との見方が広がり、一時153.88円まで上昇。7月31日以来、約3カ月ぶり高値を更新した。さらに、今週の日銀金融政策決定会合で植田日銀総裁が利上げに慎重姿勢を強めるかどうかが注目される。

10月31日 日銀金融政策決定会合

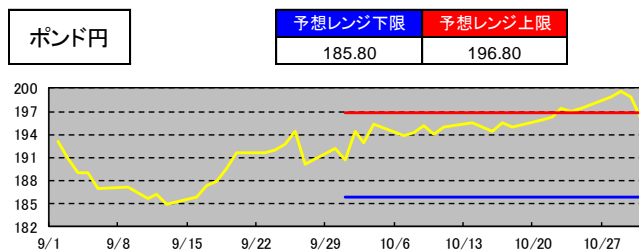
日銀決定会合で予想通り政策金利が据え置かれたが展望レポートで2025年度の物価見通しについて「上振れリスクの方が大きい」としたことで円買いに反応した。さらに植田日銀総裁会見ではこれまでの「時間的余裕がある」との表現を取り下げて、毎回の会合でデータを確認するとしたことが、年内利上げ観測につながった。ドル円は153円台割れから一時151円台まで下落した。



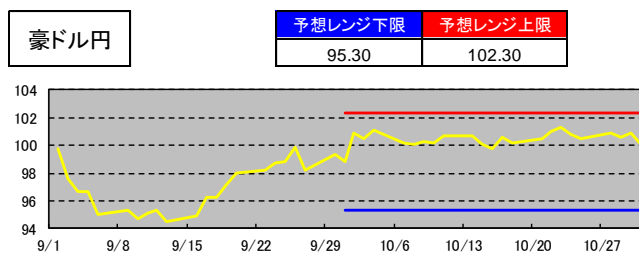
逆張り方針 評価【×】
 コメント
 予想レンジを上抜けて推移した。



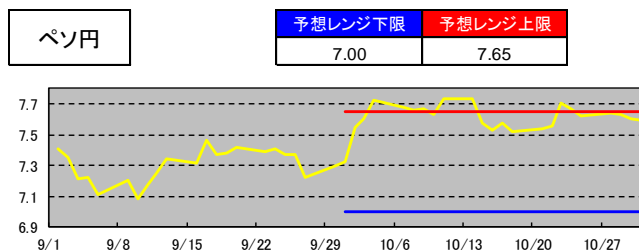
逆張り方針 評価【△】
 コメント
 予想レンジの上限付近で推移が続いた後、レンジを上抜ける展開となった。



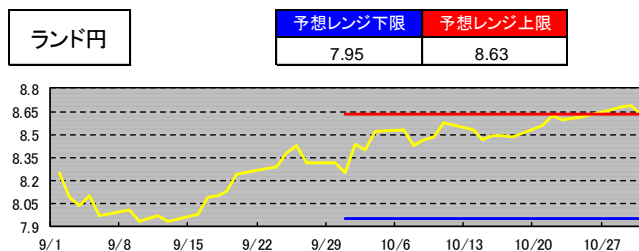
逆張り方針 評価【△】
 コメント
 予想レンジの上限付近で推移が続いた後、レンジを上抜ける展開となった。



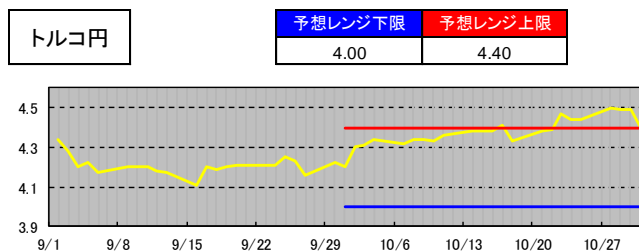
逆張り方針 評価【○】
 コメント
 予想レンジ内の推移となったが下値は限定的であった。



逆張り方針 評価【×】
 コメント
 予想レンジを上抜け、下値は限定的であった。



逆張り方針 評価【△】
 コメント
 予想レンジの上限付近で推移が続いた後、レンジを上抜ける展開となった。



逆張り方針 評価【△】
 コメント
 予想レンジの上限付近で推移が続いた後、レンジを上抜ける展開となった。

米ドル/円 【逆張り方針】

予想レンジ
 ↑ 156.70円
 ↓ 148.30円



2024年6月3日～2024年10月31日

米ドル/円 [日足]

移動平均線: -短期(21) -中期(89) -長期(200)



メインシナリオ 70%

実線は、短期のトレンドを示す21日移動平均線をサポートに、切り返しの動きとなっています。21日移動平均線は上昇、89日移動平均線は下降しており、方向感の無さが伺え、レンジ内での動きが予想されます。10月の値動きから導き出した計算値(156.66)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、10/10安値(148.30)がサポートになると予想しています。

リスクシナリオ 30%

予想レンジの下限(148.30)を下抜けた場合。この場合は10/4安値(145.90)を試す展開が考えられます。

◎ 今月の経済指標発表スケジュール

発表時刻	イベント	結果	前回	注目度
11/1 23:00	10月失業率		4.1%	★★
11/1 23:00	10月ISM製造業景気指数		47.2	★★
11/6 0:00	10月ISM非製造業景気指数		54.9	★★
11/8 0:00	FRB政策金利(下限～上限)		4.75%～5.0%	★★★★
11/13 22:30	10月消費者物価指数(前年比)		2.40%	★★
11/14 22:30	10月生産者物価指数(前年比)		1.80%	★★
11/15 22:30	10月小売売上高(前月比)		0.40%	★★
11/22 23:45	11月製造業PMI		47.8	★★
11/23 23:00	11月ミシガン大学消費者信頼感指数		70.5	★★
11/27 22:30	第3四半期実質GDP(前期比年率)		-	★★

〈相場の格言〉大きな儲けの約束は果たさない(儲け話が大きくなるほど実現は遠のくものである。)



2024年6月3日～2024年10月31日
 ユーロ/円 [日足]

移動平均線: -短期(21) -中期(89) -長期(200)



メインシナリオ 70%

実線は、短期のトレンドを示す21日移動平均線をサポートに、切り返しの動きとなっています。21日移動平均線は上昇、89日移動平均線は下降しており、方向感の無さが伺え、レンジ内での動きが予想されます。7/24高値(169.18)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、10月の値動きから導き出した計算値(161.91)がサポートになると予想しています。

リスクシナリオ 30%

予想レンジの下限(161.90)を下抜けた場合。この場合は節目160円を試す展開が考えられます。

📅 今月の経済指標発表スケジュール

発表時刻	イベント	結果	前回	注目度
11/6 19:00	9月生産者物価指数(前年比)		-2.30%	★★
11/7 19:00	9月小売売上高(前年比)		0.8%	★★
11/12 19:00	11月景況感指数		1.8%	★★
11/13 19:00	9月鉱工業生産指数(前年比)		0.1%	★★
11/14 19:00	第3四半期 GDP(前年比)		-	★★
11/19 19:00	10月消費者物価指数(前年比)		2.70%	★★
11/22 18:00	11月サービス業PMI		51.2	★★
11/22 18:00	11月製造業PMI		45.9	★★
11/29 19:00	11月消費者物価指数(前年比)		-	★★

<相場の格言>人生は運・鈍・根(根は根気。鈍は鈍重、才走って賢い人は言われるほど成功しない。)

ポンド/円 【逆張り方針】

予想レンジ

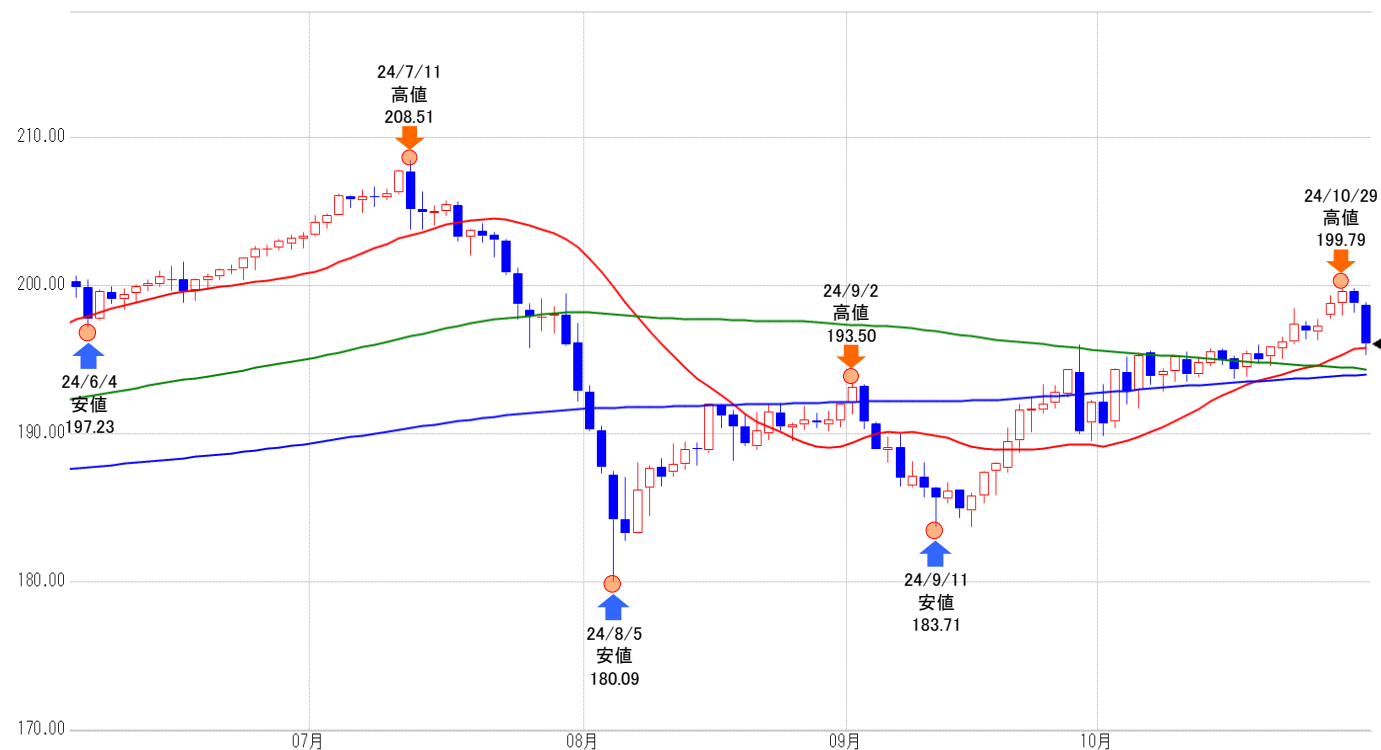
↑ 201.20円
↓ 191.40円



2024年6月3日～2024年10月31日

ポンド/円 [日足]

移動平均線: -短期(21) -中期(89) -長期(200)



メインシナリオ 70%

実線は、9/30安値(189.55)をサポートに、切り返しの動きとなっています。21日移動平均線は上昇、89日移動平均線は下降しており、方向感の無さが伺え、レンジ内での動きが予想されます。7/24高値(201.20)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、10月の値動きから導き出した計算値(191.43)がサポートになると予想しています。

リスクシナリオ 30%

予想レンジの下限(191.40)を下抜けた場合。この場合は9/20安値(188.75)を試す展開が考えられます。

◎ 今月の経済指標発表スケジュール

発表時刻	イベント	結果	前回	注目度
11/1 18:30	10月製造業PMI		50.3	★★
11/5 18:30	10月サービス業PMI			★★
11/6 18:30	9月建設業PMI		57.2	★★
11/7 21:00	英中銀政策金利		5.0%	★★★
11/12 16:00	10月失業率		4.70%	★★
11/14 16:00	第3四半期実質GDP(前年比)		0.7%	★★
11/20 16:00	10月消費者物価指数(前年比)		1.7%	★★
11/20 16:00	10月小売物価指数(前年比)		3.90%	★★
11/22 18:30	11月製造業PMI		50.3	★★
11/22 18:30	11月サービス業PMI		51.8	★★

〈相場の格言〉群盲、象を評す(相場でも全体が見えないと部分だけで判断してしまいがちである。)



2024年6月3日～2024年10月31日

豪ドル/円 [日足]

移動平均線: -短期(21) -中期(89) -長期(200)



メインシナリオ 70%

実線は、7/30高値(101.78)が抵抗となり、上値の重い動きとなっています。21日・89日・200日移動平均線は収束しており、方向感の無さが伺え、レンジ内での動きが予想されます。10月の値動きから導き出した計算値(102.48)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、9/23安値(97.62)がサポートになると予想しています。

リスクシナリオ 30%

予想レンジの下限(97.60)を下抜けた場合。この場合は9/19安値(95.97)を試す展開が考えられます。

📅 今月の経済指標発表スケジュール

発表時刻	イベント	結果	前回	注目度
11/1 9:30	第3四半期生産者物価指数(前年比)	3.9%	4.8%	★★
11/5 12:30	豪中銀政策金利		4.35%	★★★
11/7 8:30	9月貿易収支		56.44億AUD	★★
11/13 9:30	第3四半期賃金指数(前年比)		4.1%	★★
11/14 9:30	10月雇用者数(前月比)		6.41万人	★★
11/14 9:30	10月失業率		4.1%	★★
11/20 8:30	10月Westpac先行指数(前月比)		0.03%	★★
11/27 9:30	10月消費者物価指数(前年比)		2.1%	★★

<相場の格言>後悔に二つあり(利食いが早すぎた後悔は笑って済ませよ。利がはげてしまった後悔はやるせない。)

メキシコペソ/円 【逆張り方針】

予想レンジ

↑ 7.890円
↓ 7.310円



2024年6月3日～2024年10月31日

メキシコ/円 [日足]

移動平均線: -短期(21) -中期(89) -長期(200)



メインシナリオ 70%

実線は、10/4高値(7.785)が抵抗となり、上値の重い動きとなっています。21日移動平均線は上昇、89日・200日移動平均線は下降しており、方向感の無さが伺え、レンジ内での動きが予想されます。8/20高値(7.885)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、10月の値動きから導き出した計算値(7.315)がサポートになると予想しています。

リスクシナリオ 30%

予想レンジの下限(7.310)を下抜けた場合。この場合は9/12安値(7.155)を試す展開が考えられます。

@ 今月の経済指標発表スケジュール

発表時刻	イベント	結果	前回	注目度
11/1 21:00	9月失業率		3.04%	★★
11/7 21:00	9月消費者物価指数(前年比)		4.58%	★★
11/11 21:00	9月鉱工業生産指数(前年比)		-0.90%	★★
11/15 4:00	メキシコ中銀政策金利		10.5%	★★★★
11/22 21:00	第3四半期実質GDP(前期比)		1.0%	★★
11/22 21:00	第3四半期実質GDP(前年比)		1.5%	★★
11/27 21:00	10月貿易収支		-5.789億USD	★★

<相場の格言>逆ザヤに売りなく、逆日歩に売りなし(順ザヤのサヤすべりの反対現象であるから売りは不利と考える。)



2024年6月3日～2024年10月31日

ランド/円 【日足】

移動平均線：-短期(21) -中期(89) -長期(200)



メインシナリオ 70%

実線は、節目8.2円をサポートに、切り返しの動きとなっています。21日移動平均線は上昇、89日移動平均線は下降しており、方向感の無さが伺え、レンジ内での動きが予想されます。10月の値動きから導き出した計算値(8.910)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、10/3安値(8.350)がサポートになると予想しています。

リスクシナリオ 30%

予想レンジの下限(8.350)を下抜けた場合。この場合は10/1安値(8.200)を試す展開が考えられます。

◎ 今月の経済指標発表スケジュール

発表時刻	国	イベント	結果	前回	注目度
11/8 22:30	カナダ	10月失業率		6.5%	★★
11/12 18:30	南アフリカ	第3四半期失業率		33.5%	★★
11/15 22:30	日本	第3四半期実質GDP(前期比年率)		2.9%	★★
11/19 22:30	カナダ	10月消費者物価指数(前年比)		1.6%	★★
11/20 17:00	南アフリカ	10月消費者物価指数(前年比)		3.80%	★★
11/21 時間未定	南アフリカ	南ア中銀政策金利		8.00%	★★★
11/22 8:30	日本	全国消費者物価指数(前年比)		2.5%	★★
11/29 8:30	日本	10月完全失業率		2.4%	★★
11/29 22:30	カナダ	9月実質GDP(前年比)		1.30%	★★

<相場の格言>騰げは別々、下げは一緒(相場上昇時は業種等によって別々に上昇するが、下落時は同時に下げる。)

トルコ/円 【逆張り方針】

予想レンジ ↑ 4.70円
↓ 4.20円



2024年6月3日～2024年10月31日

トルコ/円 [日足]

移動平均線: -短期(21) -中期(89) -長期(200)



メインシナリオ 70%

実線は、9/30安値(4.12)をサポートに、切り返しの動きとなっています。21日移動平均線は上昇、89日・200日移動平均線は下降しており、方向感の無さが伺え、レンジ内での動きが予想されます。7/31高値(4.66)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、10月の値動きから導き出した計算値(4.23)がサポートになると予想しています。

リスクシナリオ 30%

予想レンジの下限(4.20)を下抜けた場合。この場合は9/16安値(4.09)を試す展開が考えられます。

@ 今月の経済指標発表スケジュール

発表時刻	イベント	結果	前回	注目度
11/1 16:00	10月製造業PMI		44.3	★★
11/4 16:00	10月消費者物価指数(前年比)		49.38%	★★
11/4 16:00	10月生産者物価指数(前年比)		33.09%	★★
11/11 16:00	9月失業率		8.5%	★★
11/11 16:00	9月鉱工業生産指数(前年比)		-5.3%	★★
11/21 16:00	11月消費者信頼感指数		80.6	★★
11/21 20:00	トルコ中銀政策金利		50.0%	★★★
11/25 16:00	10月貿易収支		-51.3億USD	★★
11/29 16:00	第3四半期実質GDP(前年比)		2.5%	★★

<相場の格言>逆ザヤに売りなく、逆日歩に売りなし(順ザヤのサヤすペリの反対現象であるから売りは不利と考える。)

ユーロ/米ドル 【逆張り方針】

予想レンジ ↑ 1.1090
↓ 1.0660



2024年6月3日～2024年10月31日

ユーロ/米ドル [日足]

移動平均線：-短期(21) -中期(89) -長期(200)



メインシナリオ 70%

実線は、10/23安値(1.0760)をサポートに、切り返しの動きとなっています。21日移動平均線は下降、89日移動平均線は上昇しており、方向感の無さが伺え、レンジ内での動きが予想されます。10月の値動きから導き出した計算値(1.1088)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、6/26安値(1.0665)がサポートになると予想しています。

リスクシナリオ 30%

予想レンジの下限(1.0660)を下抜けた場合。この場合は23/11/1安値(1.0520)を試す展開が考えられます。

② スワップポイント実績表 (月別合計/1枚あたり)

		ドル/円	ユーロ/円	ポンド/円	豪ドル/円	メキシコ/円	ランド/円	トルコ/円	ユーロ/ドル
23年	11月	6,760円	5,476円	8,198円	3,628円	7,500円	5,095円	1,012円	-13.96ドル
	12月	7,350円	6,142円	9,194円	3,967円	7,985円	5,504円	889円	-13.32ドル
24年	1月	7,028円	5,718円	8,686円	3,763円	8,357円	5,283円	1,194円	-10.27ドル
	2月	6,703円	5,388円	8,211円	3,514円	7,499円	5,145円	1,163円	-12.68ドル
	3月	6,753円	5,536円	8,375円	3,647円	7,632円	5,082円	1,324円	-11.39ドル
	4月	7,955円	6,402円	9,682円	4,224円	9,036円	5,833円	1,357円	-13.32ドル
	5月	6,864円	5,509円	8,436円	3,703円	8,046円	5,202円	974円	-14.85ドル
	6月	6,759円	5,253円	8,369円	3,783円	7,318円	5,098円	1,119円	-13.73ドル
	7月	7,861円	5,997円	9,834円	4,597円	8,251円	6,120円	1,396円	-16.90ドル
	8月	6,511円	4,991円	7,880円	3,348円	6,654円	5,226円	1,324円	-15.55ドル
	9月	6,093円	4,790円	7,760円	3,323円	6,180円	4,795円	1,085円	-14.46ドル
	10月	6,827円	5,110円	9,117円	3,981円	7,344円	5,708円	1,124円	-15.49ドル
	計	83,464円	66,312円	103,742円	45,478円	91,802円	64,091円	13,961円	-165.92ドル

<相場の格言>総強気は売れ、総弱気は買い(つきつめていけば、相場とはそういうものである。)

【各国基礎データ】

		日本	米国	ユーロ	英国	豪州	NZ	カナダ	南ア	トルコ	メキシコ
政策金利	2024年5月	0.10	5.50	4.50	5.25	4.35	5.50	5.00	8.25	50.00	11.00
	2024年6月	0.10	5.50	4.25	5.25	4.35	5.50	4.75	8.25	50.00	11.00
	2024年7月	0.25	5.50	4.25	5.00	4.35	5.50	4.50	8.25	50.00	11.00
	2024年8月	0.25	5.50	4.25	5.00	4.35	5.25	4.50	8.25	50.00	10.75
	2024年9月	0.25	5.00	3.65	5.00	4.35	5.25	4.25	8.25	50.00	10.75
	2024年10月	0.25	5.00	3.40	5.00	4.35	4.75	3.75	8.00	50.00	10.50
失業率	2024年4月	2.6	3.9	6.4	4.1	4.1	4.3	6.1	32.9	8.5	2.6
	2024年5月	2.6	4.0	6.4	4.3	4.0	4.6	6.2	33.5	8.4	2.6
	2024年6月	2.5	4.1	6.5	4.4	4.1	4.6	6.4	33.5	9.2	2.8
	2024年7月	2.7	4.3	6.4	4.7	4.2	-	6.4	-	8.8	2.9
	2024年8月	2.5	4.2	6.4	4.7	4.2	-	6.6	-	8.5	3.0
	2024年9月	-	4.1	-	4.7	4.1	-	6.5	-	-	-
GDP	2023年 1Q	2.7	2.0	1.3	0.5	2.3	2.2	3.1	0.2	4.0	3.7
	2023年 2Q	4.8	2.1	0.6	0.6	2.1	1.8	-0.2	1.6	3.8	3.6
	2023年 3Q	-2.9	4.9	0.1	0.2	2.1	-0.6	-1.1	-0.7	5.9	3.3
	2023年 4Q	0.4	3.9	0.1	-0.2	1.5	-0.3	1.0	1.2	4.0	2.5
	2024年 1Q	-1.8	2.8	0.6	0.3	1.1	0.3	1.1	0.5	5.7	2.2
	2024年 2Q	3.1	3.0	0.6	0.9	-	-	1.2	-	-	2.1
10年国債	2024年5月	1.075	4.503	2.663	4.372	4.399	4.840	3.633	10.957	26.38	9.766
	2024年6月	1.046	4.392	2.485	4.176	4.351	4.698	3.507	10.214	26.52	9.790
	2024年7月	1.061	4.056	2.302	3.971	4.116	4.360	3.184	9.405	26.58	10.156
	2024年8月	0.891	3.909	2.290	4.016	3.973	4.302	3.160	9.200	26.73	10.032
	2024年9月	0.864	3.787	2.132	4.009	3.963	4.279	2.956	8.845	28.49	9.679
	2024年10月	0.943	4.296	2.392	4.449	4.572	4.532	3.246	9.315	30.61	10.424

【免責事項】

- AIゴールド証券(株)は、本情報に記載の情報いづれについても、その信頼性、正確性または完全性について保証するものではありません。このような情報にはAIゴールド証券(株)により確認されていない情報が含まれていることもありますので、全てご自身のリスクでこれらをご利用下さい。本情報の中で述べられている意見は、表示の日付のAIゴールド証券(株)の判断であり、予告無しに変更されることがあります。記載内容は同意を得た場合を除き、他社に開示することはできません。
- くりっく365は為替レートやスワップポイント(金利差調整分)の変動に伴い損益の発生する商品であり、元本や収益が保証されるものではありません。
- くりっく365は取引の額が預託された証拠金に比して大きくなる(レバレッジ最大25倍まで)ため、差入証拠金以上の損失が生じる場合があります。また、建玉を維持するために追加で証拠金を差し入れる必要が生じる場合があります。
- くりっく365で提示する為替レートには価格差(スプレッド)があります。
- 手数料はお客様の選択された取引コースにより異なります。
【総合コース:1枚あたり片道1,100円(税込)。ただし、媒介口座をご利用の場合は1,100円のうち770円が媒介手数料となります】
【インターネットコース:1枚あたり片道220円(税込)。ただし、媒介口座をご利用の場合は220円のうち110円が媒介手数料となります】
- 注文の発注、およびポジションを維持するために必要な証拠金額は通貨ペアによって異なり、1枚あたり1,760円～78,040円(2024年11月1日現在)です。なお、必要証拠金額は所定の計算式により毎週見直されるため、変更される場合があります。
- お取引に際して、必ず契約締結前交付書面(取引所為替証拠金取引説明書)、為替証拠金取引口座設定約諾書、約款ならびにお客様向け資料の内容をよく読み、ご理解のうえお客様ご自身の判断でお取引ください。
- 「取引所FX くりっく365」は株式会社東京金融取引所の登録商標です。

【編集・発行】

AIゴールド証券株式会社 コンサルティング部

住所：東京都中央区日本橋久松町12-8 TEL：03-6861-8181(直通) E-mail：kawase@aigold.co.jp

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第282号 一般社団法人金融先物取引業協会会員 日本証券業協会会員

日本商品先物取引協会会員